

議案第 13 号 小松島市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について

《改正の趣旨》

平成 28 年度の人事院勧告に基づく扶養手当の見直しにより、子と孫の扶養手当額の取り扱いが異なることとなったため、扶養親族の規定を分割するもの。

小松島市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例(昭和41年小松島市条例第31号)新旧対照表

| 現行 | 改正後（案） | 備考 |
|--|--|---|
| <p>（扶養手当）</p> <p>第5条 （略）</p> <p>2 扶養手当の支給については、次の各号に掲げる者で他に生計の途がなく、主としてその職員の扶養を受けているものを扶養親族とする。</p> <p>(1) （略）</p> <p>(2) 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子及び孫</p> <p>(3) （略）</p> <p>(4) （略）</p> <p>(5) （略）</p> | <p>（扶養手当）</p> <p>第5条 （略）</p> <p>2 扶養手当の支給については、次の各号に掲げる者で他に生計の途がなく、主としてその職員の扶養を受けているものを扶養親族とする。</p> <p>(1) （略）</p> <p>(2) 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子</p> <p>———</p> <p>(3) 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある孫</p> <p>(4) （略）</p> <p>(5) （略）</p> <p>(6) （略）</p> | <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>削除</p> <p>追加</p> <p>改正</p> <p>改正</p> <p>改正</p> |